

# プラネタリウム利用案内

プラネタリウムの内容は、職員による星空生解説+プラネタリウム番組です。

プラネタリウム入場時刻【1・2月】※冬の特別展期間(1/5~1/19)は土日祝スケジュールです。※2/18の1回目はキッズプラネタリウムになります。

		1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
1月	平日	10:15 団体専用 ※番組は団体の希望による	11:30 団体優先 (僕らもみんな宇宙人)	12:45 団体優先 (ピリオンサン)	14:00 おぼけのマール	15:15 水の惑星
	土・日・祝	10:15 おぼけのマール	11:30 サイエンジャーと火星旅行	12:45 水の惑星	14:00 ほしをつかまえたおうし	15:15 全編生解説プラネ
2月	平日	10:15 団体専用 ※番組は団体の希望による	11:30 団体優先 (おぼけのマール)	12:45 団体優先 (水の惑星)	14:00 ほしをつかまえたおうし	15:15 全編生解説プラネ
	土・日・祝	10:15 おぼけのマール	11:30 僕らもみんな宇宙人	12:45 ほしをつかまえたおうし	14:00 ピリオンサン	15:15 水の惑星

※団体優先回に予約団体が入らなかった場合は括弧内の番組を上映します。

## プラネタリウム番組

**おぼけのマールと  
ゆめのとびら**

当館  
オリジナル  
番組

【おすすめ】  
ちいさなお子さまと保護者

30分番組(アニメーションと星のおはなし)

「おぼけのマール」がプラネタリウムにやってきました!

**ほしをつかまえた  
おうし**

当館  
オリジナル  
番組

【おすすめ】  
ちいさなお子さまと保護者

30分番組(アニメーションと星のおはなし)

おうしはほしをつかまえて、なにをおねがいするのでしょうか。

**サイエンジャーと  
火星旅行**

当館  
オリジナル  
番組

【おすすめ】  
小学生以上

50分番組(番組15分・解説35分)

火星に詳しくなって、星空をもっと楽しみましょう!

**僕らもみんな  
宇宙人!?**

当館  
オリジナル  
番組

【おすすめ】  
小学生以上

50分番組(番組20分・解説30分)

プラネタリウムの化身ケイロンとサイエンジャーが宇宙を大冒険!

**ピリオンサン**

【おすすめ】  
小学校高学年以上

50分番組(番組30分・解説20分)

天の川銀河の立体地図をつくる…人類の新しい宇宙への挑戦!

**水の惑星-星の旅シリーズ-**  
50分番組(番組30分・解説20分)

【おすすめ】小学校高学年以上

東南地球から星空を望み、星の世界に水を探る旅がはじまります。

**全編生解説プラネ(テーマ:オーロラ)**  
50分番組(すべて生解説)

【おすすめ】小学生以上

当日の星空と1~2月のテーマ「オーロラ」について、解説員がご紹介します。星空解説をたっぷり聞きたい方におすすめです。

※投影の中止または内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。  
※免券終了は入場開始の5分後、開演は入場開始から10分後です。途中入場はできません。  
※モード付き補聴器で、音声を拾うことができます。ご利用の際はチケット売場にてお申し付けください。

## 旬の話題

### 日本人宇宙飛行士が認定！ 有人宇宙開発 新たな時代へ

JAXAでは、2024年10月21日に諏訪理さんと、米田あゆさんの2名を宇宙飛行士として認定しました。2人は国際宇宙ステーションでの活動や、月面活動などの様々なミッションへ向けた基礎プログラムを修了しており、将来の月面探査も視野に訓練が行われたとのこと。

アメリカのNASAが提案した「アルテミス計画」も進行中で、人類が再び月へ降り立つ日が着々と近づいています。これからの宇宙開発が楽しみです。



宇宙飛行士に認定された米田さん(左)と諏訪さん(右)

## 観望会のご案内

### 札幌市天文台

【住所】中島公園内(コンサートホールKitaraと豊平館の間)  
【休台日】月曜日、火曜日午後、祝日の翌日  
【お問い合わせ】☎011-511-9624(札幌市天文台)

#### ★昼間公開

日程 火曜日 10:00~12:00  
水曜日~日曜日 ①10:00~12:00 ②14:00~16:00

観望対象 太陽、昼間に見える星

#### ★夜間公開

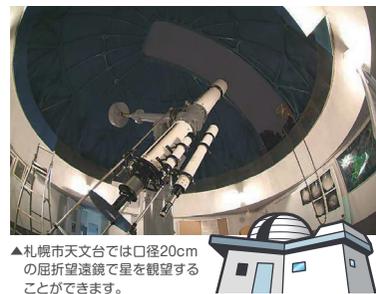
1月の日程 ①1月10日(金)~1月12日(日)  
②1月24日(金)~1月26日(日)  
18:00~20:00

観望対象 ①月・火星・木星・冬の星座  
②火星・木星・冬の星座

2月の日程 ①2月7日(金)~2月9日(日)  
②2月21日(金)~2月23日(日)  
18:00~20:00

観望対象 ①月・火星・木星・冬の星座  
②火星・木星・冬の星座

○今年度より昼・夜ともに事前予約は不要になりましたので、直接札幌市天文台へお越しください。混雑時は順番に中へご案内いたしますので、天文台の外でお待ちいただく場合があります。  
○雨天・曇天時は観望は行いませんが、天文台を公開し天文に関する質問対応や解説を行います。※荒天時には質問対応等も中止になる場合があります。



▲札幌市天文台では口径20cmの屈折望遠鏡で星を観望することができます。

休館日 1/1・2・3・4・15・20・27・28、2/3・10・12・17・25・26

観覧時間 5月~9月 …… 9:00~17:00 (入館は閉館の30分前まで)  
10月~4月 …… 9:30~16:30

観覧料	大人	中学生以下
展示室	700円(500円)	無料
プラネタリウム	500円(360円)	無料
セット券	1,000円(860円)	無料

※( )は、65歳以上の方、障害者手帳もしくはアプリ「ミライロID」をご提示の方 ※さぽーとさぽろ会員割引あり ※その他、回数券、年間パスポート等あり

— 科学の今と未来をつなぐ —  
**札幌市青少年科学館**  
Sapporo Science Center  
(札幌市青少年科学館 指定管理者 公益財団法人 札幌市生涯学習振興財団)



〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目2-20  
[TEL]011-892-5001 [FAX]011-894-5445 【ホームページ】https://www.ssc.slip.or.jp

#### お知らせ

展示室・プラネタリウムのオンライン予約を始めました。科学館ホームページからご確認ください。



2025年  
1・2月号  
Vol.114

札幌市青少年科学館天文情報リーフレット

# 星空散歩

HOSHIZORASAMPO

### 今回の表紙写真は… 紫金山・アトラス彗星

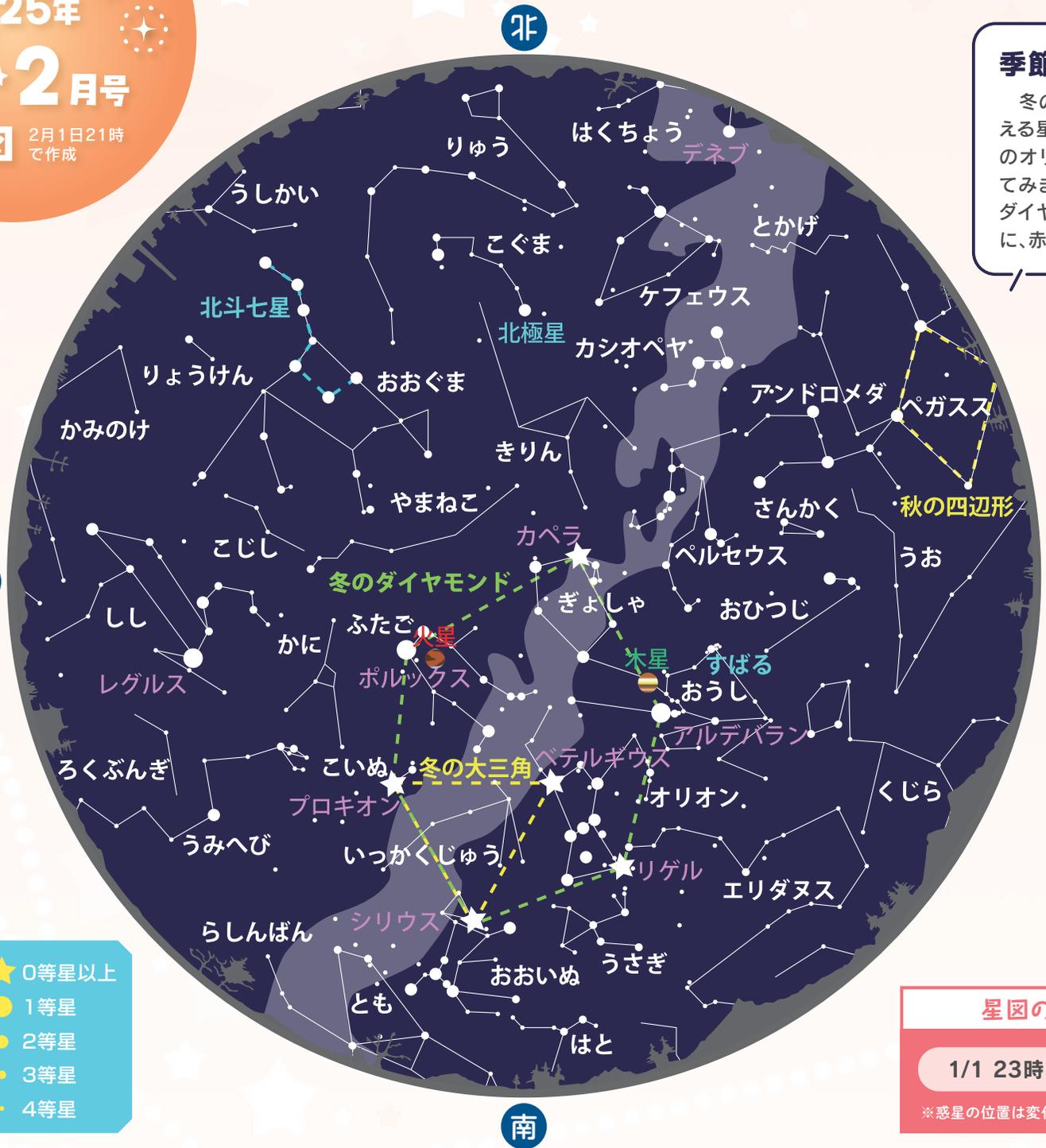
2024年10月13日(日本時間)に地球へ最接近したこの彗星は、街の中からも観察できるほどの大彗星となりました。惑星などの引力によって軌道がわずかに変わったことで、今後は太陽系外の宇宙へ出ていくと考えられています。

撮影者：札幌市青少年科学館(布廣直人) 撮影日：2024年10月13日18時20分頃 撮影地：積丹郡積丹町神神町  
機材等：Canon EOS R5+SHARPSTAR 76EDPH。ISO3200、F4.5相当、シャッタースピード10秒、10枚をメトカーフコンポジットし、Lightroomで調整。

### アンケートのお願い

よりよい誌面を作るため、みなさんの声をお聞かせください。





- ★ 0等星以上
- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星

### 季節の星のたどり方

冬の夜空には、明るい星が多く輝きます。南の空で特に明るく見える星は、木星です。木星から東へ目を移し、リボンのような星並びのオリオン座や、青白く光るシリウスから、「冬の大三角」をたどってみましょう。さらに周りの明るい星たちを結びと、六角形の「冬のダイヤモンド」が夜空を彩ります。今年は冬のダイヤモンドの近くに、赤っぽく光る火星も見つけることができますよ。

### 星図の使い方



- ①星図は空にかかげて使います。
- ②空にかかげたら、自分の向いている方角と星図の方角と合わせて星を探しましょう。



### 星図のように見える時刻

- 1/1 23時ごろ
- 2/1 21時ごろ

※惑星の位置は変化するため、2/1の位置を示しています。

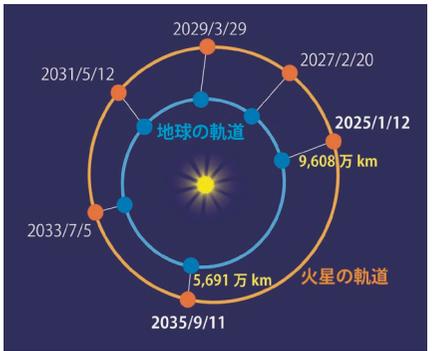
### 月のかたち

- 満月 1/14、2/12
- 下弦 1/22、2/21
- 新月 1/29、2/28
- 上弦 1/7、2/5

### 旬の話題

#### 火星と地球の最接近!

2025年の1月12日、地球と火星とがもっとも近づくと迎えます。地球と火星はおよそ2年2か月ごとに接近を繰り返すのですが、火星の軌道が楕円であるため最接近時の距離はその時々によって約5,500万kmから約1億kmまで大きく変化します。2025年の最接近では、地球と火星の間の距離は約9,600万kmになりますので、最接近の中ではかなり距離は遠いものとなります。とはいえ、このときの火星のみかけの明るさは-1.4等に達して、これは全天で最も明るい一等星であるシリウスとほぼ同じ明るさです。ちなみに、次に地球と火星が大接近するのは2035年の9月11日。この時の地球と火星の距離は5,691万kmまで縮み、みかけの明るさは-2.8等にもなります。また、見た目にもかなり大きく見え、なんとこの時は火星が土星よりも大きく見えるようになるそうです。そんな10年後の火星大接近も今から楽しみになってしまいますね。



### 星座のおはなし

#### うさぎ座のおはなし

みかけの明るい星がとくに多い冬の星空の一角。オリオン座の近く、その足元に見える星座です。狩人オリオンとその獵犬から逃げゆく獲物のウサギだとされています。ローマ神話の中では、あるとき、とある島に持ち込まれたウサギがその数を増やして畑の作物をねこそぎ食い荒らした為、島の人々がウサギを島から追い払い、星座としてこのことを忘れないように戒めたと伝えられています。



#### みつけかた

オリオン座のすぐ下(南側)に注目すると、オリオン座の砂時計の形を横にして、三ツ星のまん中の星を除いたような暗めの星並びがあります。そこから周りの星へふたつの長い耳やしっぽを生やしてあげると、ウサギの姿を描くことができます。

- 1月…南南東の空20時ごろ
- 2月…南の空20時ごろ